

《Lesson 2》 特殊な動詞

一般動詞の中には「普通には ing を普通に足せない動詞」や「そもそも進行形にしない動詞」などがあります。

【普通には ing を足せない一般動詞】

	原形	ing 形
パターン 1	use (使う)	using (使っている)
パターン 2	run (走る)	running (走っている)
パターン 3	lie (横になる)	lying (横になっている)

パターン 1 = 語尾が“e”で終わる動詞。“e”を消して“ing”を足す。

<他の例> make (作る) → **making** (作っている)

パターン 2 = 最後が「子音+母音+子音」の動詞。最後の子音を重ねて ing を足す。

<他の例> swim (泳ぐ) → **swimming** (泳いでいる)

パターン 3 = 不規則な形。変化が異なるため、暗記するのがベスト!

<他の例> die (死ぬ) → ***dying** (死にかけている)

*進行形は、動詞によっては「何かの動きの途中 (未完了)」を表すことができます。

<例> dying = 死にかけている (だんだん死に近づいていっている)

stopping = 止まりかけている (だんだん速度を落としている)

losing = 失いつつある (だんだん失っていっている)

【基本的に進行形にしない一般動詞】

(1) 「状態」を表す動詞

<例> know (知っている) remember (覚えている)

(2) 「構成」や「所有」を表す動詞

<例> have (持っている) own (所有している)

(3) 「知覚」や「心の動き」を表す動詞

<例> like (好き) want (ほしい)

*しかし、これらのルールにあてはまらない例外もありますので、注意してください。

【理解するポイント】

進行形は原則「その瞬間行なわれているもの」を説明する時に使われるため、動作が続くことが前提の動詞は基本的に進行形にならない。

(1) know / remember

→「今、この瞬間は知っている（覚えている）けど、次の瞬間忘れてしまう」なんてことは通常起こりえない。

(2) have/own

→「今、この瞬間は持っている（所有している）けど、次の瞬間無くしてしまう」ということは通常ない。

(3) like/want

→「今、この瞬間は好き（ほしい）けど、次の瞬間嫌いになる（ほしくなくなる）」ということは通常ない。

以上の理由から、上記の一般動詞は基本的に進行形にならない。